

小社発行書籍をご愛用いただき、誠にありがとうございます。

『最速合格！看護師国家試験過去問題集2016年版』につきまして、誤り、また解説の不足がございましたので謹んで以下のような訂正または追記をさせていただきます。ご利用いただいております皆さまにご迷惑をおかけ致しましたことを深くお詫び申し上げます。

【最速合格！看護師国家試験過去問題集2016年版】

Page	問題番号	箇所	訂正前	訂正後	掲載日
17p	47	選択1の解説	二次的に低カルシウム血症を発症する。	二次的に 高 カルシウム血症を発症する。	12月26日
33p	81	選択1の解説	memoを追加	memo日本産婦人科学会等は2015年8月に不妊(症)の定義の不妊期間について、従来の定義の「2年というのが一般的」を「1年というのが一般的」と変更するのが適当であるとして定義変更を行った。	12月26日
48p	112	解答	選択肢2に○	選択肢3に○	12月26日
48p	112	選択2・3の解説	日中は臥床して過ごしていることから、生活リズムを整えるため作業療法への参加を促してみるとよい。	入院して薬物治療開始から5日目で看護師の声かけにもほとんど反応しない状態であるため、作業療法はまだ時期尚早である。日中の休息時間を維持し、その後の改善の状態に応じて作業療法の導入を考慮していくとよい。	12月26日
48p	112	選択1の解説	Aさんの空腹時血糖値は200mg/dLと高血糖を示しており、耐性能の異常が考えられる。	Aさんの空腹時血糖値は200mg/dLと高血糖を示しており、耐 糖 能の異常が考えられる。	12月26日
51p	119	解答	選択肢2に○	選択肢2が×、それ以外を○	12月26日
64p	37	選択1の解説	食事—病因	食事— 環境要因	12月26日
68p	50	選択3の解説	代謝性アシドーシスではpHは7.35以下になる。腎不全、飢餓、ケトン体や乳酸の蓄積などで起こる。	pH7.32、PaCO ₂ 77Torr、50Torrであるため、アシドーシスである。 代謝性アシドーシスの場合はHCO ₃ ⁻ は低下するが、本ケースではHCO ₃ ⁻ 26.0mEq/Lであり正常範囲を上回っている(HCO ₃ ⁻ の正常範囲:21~25mEq/L)。よって本ケースは呼吸性アシドーシスであると考えられる。	12月26日
69p	51	選択3の解説	クールボアジュ徴候とは胆管がんなどにより総胆管などが圧迫されて閉鎖することで、胆嚢内に胆汁が蓄積し、無痛性に腫大した胆嚢を蝕知することである。	クールボアジュ徴候とは胆管がんなどにより総胆管などが圧迫されて 閉鎖 することで、胆嚢内に胆汁が蓄積し、無痛性に腫大した胆嚢を蝕知することである。	12月26日
77p	74	選択3の解説	不眠が続く場合……災害後に症状が再熱しやすいことが報告されている。	不眠が続く場合……災害後に症状が 再燃 しやすいことが報告されている。	12月26日
81p	84	アミ部分	抗コリン薬はアセチルコインのはたらきを妨げる。	抗コリン薬はアセチルコ リン のはたらきを妨げる。	12月26日

84p	91	選択3の解説	ストーマの陥没とは人工肛門が腹腔内に落ち込むことであるが、術後すぐに起こることは少ない。不自由がなければそのまま様子を見る。	低位前方切除術は人工肛門(ストーマ)を造らないための術式である。	12月26日
87p	96	解説	字の読みは可能なため、イラストを用いる必要はない。	術後で意識レベルも低下しているので文字盤を用いたコミュニケーションより、イラストのほうが、より患者さんにとって適切と思われる。	12月26日
149p	63	解説	抗がん化学療法により、白血球が減少し易感染性になると、白血球数1,000/ μ l以上を基準に、加熱食への変更、クリーンルーム(無菌室)への入室としている施設が多い(施設により異なる)。	抗がん化学療法により、白血球が減少し易感染性になると、白血球数1,000/ μ l以下を基準に、加熱食への変更、クリーンルーム(無菌室)への入室としている施設が多い(施設により異なる)。	12月26日
162p	28	解説	①問題の図はPQ間隔なので、心房の興奮が心室中隔を伝わっていくこと(心室中隔伝導)を表す。 ②枠内の文字 PQ(心室中隔伝導)	①問題の図はPQ間隔なので、房室伝導である。 ②枠内の文字 PQ(房室伝導)	12月26日
311p	49	選択1, 2の解説	※memoの文章を訂正後の文章に差し替え	結腸の悪性新生物による死亡の方が多い。 <メモ>平成26年の死因簡単分類別に見た性別死亡数・死亡率によると結腸悪性新生物33297人、直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物15188人である。	12月26日
546p	53	選択3の解説	老年期にも自己抗体の産生は保たれる。	加齢とともに自己抗体の産生は増加する。	5月22日
638p	122	選択1の解説	排尿回数は正常(新生児の排尿回数は15~25回/月)を逸脱している。	排尿回数は正常(新生児の排尿回数は7回~25回/月)を逸脱している。	12月26日
728p	46	解答	以下を追記 ※厚生労働省は選択肢1の「自立訓練(生活訓練)」を正答としているが、Aさんは日常生活が自立している、と設問にあること、実家をでて生活してみたいと訴えていることより、選択肢4の「共同生活援助(グループホーム)」で提供されるサービス内容が適切と考え、本書では選択肢4を正答とした。		5月22日